

# J A 佐渡

## 進めています！ 自己改革

J A 佐渡は農業・地域を支える組織として、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを目標に掲げ、自己改革に取り組んでいます。着実な実践のため「自己改革工程表」を策定し、各事業年度計画のなかで実践しています。今回は「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に関し主な取組内容を報告します。

天候等の影響を大きく受け、生産者や職員の努力の甲斐なく目標達成に至らぬ取組が多い事業年度となりましたが、私たちはこれからも、組合員や地域住民の声に耳を傾け、真剣な議論を通して、農業・地域の確かな方向性を見出す協同組合として、着実に自己改革を進めていきます。

### 1. 佐渡米の販売強化と農業所得の向上

#### ①高品質良質米生産

品質と食味の向上に向けて、佐渡米未来プロジェクト「品質向上 90」の取組に加え、各地区で指導会等を延べ 399 会場（3,495 名参加）で開催し、基本技術の実践と地域ごとの重点対策に取り組みました。生産者の努力により、新潟 4 地区の中で最も高い一等米比率となり、卸等からも高い評価を得ています。

29 年度目標		29 年度の到達点	目標達成率
・品質、食味の向上	一等米比率 90%	89.4%	99.30%
	たんぱく含有量 6.0%以下	5.80%	100.0%

#### ②環境にやさしい農業の推進

こだわり栽培米の需要に見合った生産量を確保するため、こしいぶき（主食用米）の3割・5割以上減・減栽培と佐渡市認証米の栽培誘導・面積拡大に取り組みました。

29 年度目標		29 年度の到達点	目標達成率
・コシヒカリ以外の5割減栽培	全体面積の50%	30.8%	61.6%
・佐渡市認証米の面積拡大	1,200ha	1,180ha	98.3%

#### ③販売活動の強化

米穀店等実需者との結びつきを強化し集荷量の維持・安定販売を行うため商談等を精力的に開催すると共に、販路確保に向け佐渡米取扱店の拡大に努めました。

29 年度目標		29 年度の到達点	目標達成率
・商談、懇談会の開催	8回/年	7回/年	87.5%
・佐渡市認証米取扱店の拡大	300店	250店	83.3%

### 2. 園芸生産30%アップと販売力強化による農業所得向上

#### ①島外競争力のある産地形成

園芸重点品目であるアスパラガスと水稻後作園芸作物（玉ねぎ、キャベツ）の生産拡大に取り組みました。

29年度目標		29年度の到達点	目標達成率
・アスパラガス	累計面積 4ha (販売額 1,300 千円)	3.5ha (1,900 千円)	88% (146.1%)
・水田フル活用による園芸作物	累計面積 4ha (販売額 8,000 千円)	2.5ha (1,700 千円)	62.5 (21.2%)

## ②おけさ柿の生産拡大

研修会等を開催し、おけさ柿の収量向上に取り組むと共に、加工柿等の付加価値商品の拡大に取り組みました。また、ジョイント栽培等の導入による園地の改植に取り組みました。

29年度目標		29年度の到達点	目標達成率
・ジョイント栽培等園地の改植	累計面積 2ha	1.48ha	74%
・おけさ柿の収量向上	1.1 t /10a	0.64 t /10a	58.1%
・付加価値商品の拡大	加工柿 150,000 千円 冷蔵柿 7,000 千円	119,705 千円 3,900 千円	79.8% 55.7%

## 3. 地域内耕畜連携の強化による畜産・耕種農家の所得向上と生産拡大

### ①畜産農家のコスト削減と地域循環

耕畜連携を目指し稲 WCS（稲発酵粗飼料）の面積拡大に取り組むと共に、29年8月より米発酵飼料の供給を開始しました。CBSの本格稼働後は耕種農家への堆肥供給を開始します。

29年度目標		29年度の到達点	目標達成率
・水田フル活用による稲 WCS の拡大	面積 135ha	68ha	50.3%
・米発酵飼料の供給によるコスト低減	供給量 100t	20t	20.0%

### ②佐渡和牛の増頭支援

新規繁殖農家の支援を行うと共に、巡回指導会の取り組みを強化しました。繁殖農家の支援として大型和牛繁殖支援施設（CBS）で預託飼育を開始しました。（30年8月以降は子牛の預託飼育を開始）

29年度目標		29年度の到達点	目標達成率
・家畜市場の増頭	上場頭数 260 頭 販売額 186,000 千円	259 頭 166,387 千円	99.6% 89.4%
・CBS での預託飼育（29年度は成牛のみ）	10 頭	14 頭	140.0%

### ③酪農家の所得向上と加工施設の機能強化

佐渡だから出来る高品質生産農場（クリーンミルク認定農場）の継続取り組みと乳製品の販売拡大に取り組みました。また、生乳プラントの建設に取り組み、30年3月より稼働しました。

29年度目標		29年度の到達点	目標達成率
・生乳出荷量 (生乳販売高ベース)	1,664 t 199,764 千円	1,570t (188,436 千円)	94.3%

#### 4. 農業生産コスト低減に向けた取り組み

##### ①共同施設の有効利用の提案

生産コスト低減や大規模農家の計画刈取りのため、コシヒカリの平日割や大口利用割引等、カントリーの利用提案を実施しました。また、おけさ柿選果場の経費負担軽減のため集荷量の確保による物流経費の圧縮に取り組みました。

29年度目標		29年度の到達点		目標達成率
・カントリー等の活用提案	利用件数 640 件	563 件		87.9%
	稼働率 90%	83.1%		92.3%
・おけさ柿選果場のコスト圧縮	経費率 40%	48.4%		82.6%

##### ②生産コストの低減・省力資材の提供

肥料の卸価格高騰（平均3.6%上昇）のなか、経営努力により主要品目を中心に価格を据え置き、平均1%の上昇に留めました。また各種生産資材のコスト低減プランの提案に取り組みました。

29年度目標		29年度の到達点		目標達成率
・予約結集による価格引き下げ	集約率 肥料 88%	93%		105.6%
	農薬 85%	94%		110.5%
・自己引取りによる価格引き下げ	8,500 千円低減	8,757 千円		103.0%
・省力資材、大型規格の提案	85,000 千円低減	肥料 63,530 千円 農薬 21,800 千円		100.3%
《コスト低減》予約奨励制度、予約品肥料の早期配達（引取）、予約品の自己引取り 購入金額に伴う大口奨励金、大口需要者支援対策（担い手・生産者組織等） 防除作業受託組織育成支援対策、園芸関係生産組織育成支援対策 なお、JA佐渡では特別決済を選択した場合でも通常決済と価格差は有りません。				

##### ③農業機械・燃料のコスト低減

新たな生産コスト低減技術の導入提案や、農機の長期使用によるコスト低減として点検・格納整備の提案を進めました。また、各種キャンペーンにより燃料コストの低減を図りました。

29年度目標		29年度の到達点		目標達成率
・直は、疎植、密苗	対象 大規模農家 380 名 2,555ha（コシヒカリ）	直は 2 件 6ha		15.2%
	普及面積 20% 451ha	疎植 28 件 48ha		
		密苗 4 件 15ha 計 69ha		
・農機具長期使用提案	事前点検 400 件	542 件		135.5%
	格納整備 320 件	275 件		85.9%
・燃料の値引き還元	ガソリン 310 万円	312 万円		100.6%
	灯油 1,480 万円	1,766 万円		119.3%

#### 5. 担い手の育成と支援

##### ①出向く相談・提案機能の強化による経営支援

融資や農機担当者等とTACが連携・出向く体制を強化し、経営相談や提案・補助事業申請手続き等にあたりました。

29年度目標	29年度の到達点	目標達成率
・改善提案と相談・支援 訪問先 450名	380名	84.4%
《訪問活動》 農業経営相談（826回）、情報案内（756回）、その他（480回）		
《主な活動内容》 園芸振興（6件）、補助事業支援（1件）、記帳代行推進（14件） 組織化支援（18件）、資金調達（4件）		など
《補助事業等》 ①にいがた農業応援ファンド（申請69件、事業費62,973千円） ②佐渡市色彩選別機導入事業（18台導入）		など

## ②担い手の育成支援

おけさ柿の次世代担い手の育成を目的に「おけさ柿担い手育成塾（※）」を開校しています。

29年度目標	29年度の到達点	目標達成率
・担い手育成塾による担い手育成 3期生10名募集	6名	60.0%

※2年間15回コースの講義・研修を通しておけさ柿の基礎知識と栽培技術を学ぶ塾で塾生の交流も目的としています。第1期生10名、2期生5名が既に卒業し、地域で担い手として活動しています。

## ③担い手農家の負担軽減

Web農業簿記の経営データ等を活用した経営支援を実施しました。

なお、30年9月の事業開始に向け、担い手農家の労働力確保を目的とした「職業紹介事業」の準備を現在進めています。

29年度目標	29年度の到達点	目標達成率
・Web農業簿記活用による提案、支援 対象70名	新規就農者 2名 経営体への経営改善提案 10件	17.10%

## 自己改革の取り組みを共有するために－徹底した話し合いの取り組み－

着実な自己改革の実践において、主人公である組合員や地域住民のご理解とご協力は不可欠です。JA佐渡では懇談等を重ね、徹底した話し合いを行っています。

以下の話し合いの場のほか、各部会、倶楽部でも自己改革に関連した話し合いを行っています。

主な実施内容			
支店別総代懇談会（9会場）	平成29年11月	延べ	326名参加
支店別総代懇談会（9会場）	平成30年2月	延べ	357名参加
冬季地域座談会（181会場）	平成30年1月～2月	延べ	1,791名参加
青年部とJA役職員との懇談会	平成29年12月2日		21名参加
女性部リーダー研修会	平成29年4月11日		58名参加
女性部とのJA役職員との懇談会	平成30年1月18日		12名参加
若手農業者との懇談会	平成29年7月26日	若手農業者	25名を含む計67名